

5 統計資料

(1) 設問別正答率(%) (過去との比較)

〔表2〕は、抽出答案による設問別正答率を年度ごとにまとめたものである。本年度より、設問【6】整序・作文を全て会話形式で出題することとした。年度により出題内容や難易度が異なるため、単純な数値の比較は困難であるが、本年度は過年度と比較して、設問【6】整序・作文の正答率がやや高く、【2】語彙の正答率が低いことが分かる。

設問別正答率(%)の推移(過去との比較)

〔表2〕

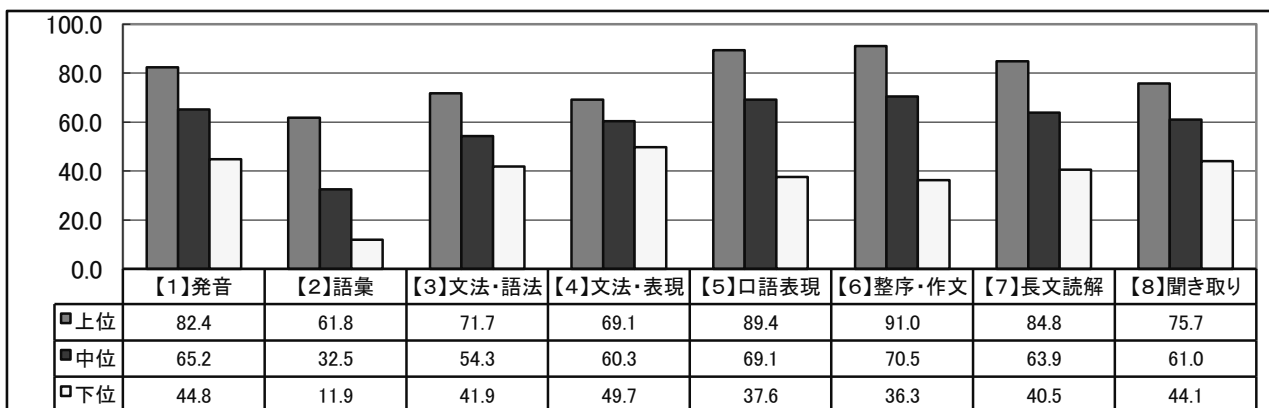
年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
抽出人数	3,102	3,252	3,158	3,284	3,227	3,204	3,265	3,252	3,207
全設問	54.9	56.6	60.8	61.7	61.1	57.0	51.2	65.5	59.9
【1】発音	54.2	53.3	48.5	65.4	45.2	66.6	46.9	59.8	64.3
【2】語彙	44.5	53.0	54.0	46.4	50.6	41.2	47.9	49.6	35.5
【3】文法・語法	71.1	55.5	67.2	68.8	79.0	67.0	55.7	63.9	56.0
【4】文法・表現	49.4	42.6	66.8	47.9	53.3	40.3	42.9	71.4	59.8
【5】口語表現	67.6	86.4	76.7	70.7	74.4	73.5	45.8	83.9	65.7
【6】整序・作文	49.1	42.8	56.3	65.7	55.6	55.2	55.2	60.9	66.3
【7】長文読解	51.5	54.8	62.3	61.8	63.7	52.7	51.2	60.5	63.3
【8】聞き取り	52.7	72.1	50.6	60.0	70.7	75.1	59.1	75.5	60.4

(2) 平成28年度設問別正答率(上位・中位・下位層の比較)

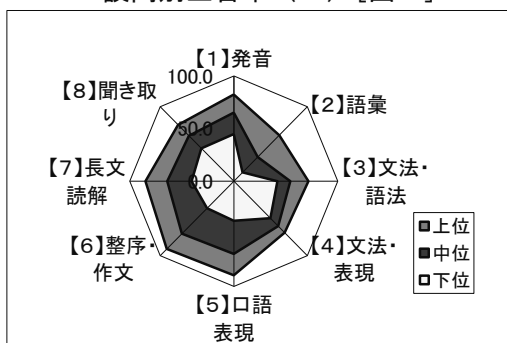
〔図1〕は、全調査校146校(学科・コース)から抽出した3,207名中の学校平均点上位31校(偏差値55以上)に所属する1,039名(上位層)、学校平均点中位48校(偏差値45以上55未満)に所属する1,152名(中位層)及び学校平均点下位67校(偏差値45未満)に所属する1,016名(下位層)の設問別正答率をグラフにしたものである。

設問別正答率(%) (上位・中位・下位層の比較)

〔図1〕



設問別正答率(%)〔図2〕



〔図2〕は〔図1〕をレーダーチャートにしたものである。各設問における各層の正答率を見ると、設問【2】語彙、【5】口語表現、【6】整序・作文で各層の差が大きい。一方、設問【3】文法・語法、【4】文法・表現、【8】聞き取りでは、各層の差が小さくなっている。上位層と中位層は、【5】口語表現、【6】整序・作文の正答率が高いのに対し、下位層は、【1】発音、【4】文法・表現、【8】聞き取りの正答率が比較的高い傾向にある。